

みつけ 市議会だより

2022
No.115
臨時号

令和4年12月23日発行



●議長・副議長の抱負

11 月臨時会

常任委員会・議会運営委員会等の構成…………… 2

●わたしの抱負（各議員の抱負）…………… 3～6

議長・副議長の抱負



佐野 統康 議長

当選3回 新町2丁目7番30号

新型コロナウイルス禍やウクライナ侵略が市民生活に影響を落とし、先行きに不透明感がある中、議長に就任することになり、重責に身の引き締まる思いです。

二元代表制での議会と執行部の車の両輪のような関係において、市民の皆様の声・意見を真摯に聞き、市政に反映できるようにしっかりと務めてまいります。お互いに馴れ合いにならないよう、良いものは良い、おかしなものはダメと言える適切な緊張感を持ち、議会の役割を發揮した重みのある議会運営を心がけます。

また、速やかに各議員へ情報共有を行い、風通しを良くし、議員間討議を活発にします。

そして議会改革とは、各議員の質の向上・レベルアップが本質と考えます。議案審議への分析・対応力や、市政への提言力を磨くことが優先事項であり大切です。限られた予算の効率化につなげ、大切な市民の皆様の税金の使い道をより有益にしていきたいです。皆様に信頼され愛される市議会を目指して、全力で取り組んでまいります。



渡辺 美絵 副議長

当選3回 本町2丁目3番4号

このたび、改選後の臨時会におきまして、副議長という大役を仰せつかりました。重責に身の引き締まる思いです。

一議員としては、次世代を中心に置いたまちづくりによって人口が増え、結果としてすべての世代に好循環をうむという信念で活動していきます。議員としての仕事は年4回の定例会だけではありません。閉会中の活動の中では、市民の皆様と横につながり、困りごとを把握して、わかりやすく執行部に提案していきます。

議会の場では議案に対し、なぜそれをしてしなければならないのか、市民の皆様どんな効果をもたらし、リスクはなにか、公平な目線でチェックしていきます。

副議長としては、議長が描いた地図を現実にも即した形で落とし込んでいくための補佐をしたいと思えます。そのためには議長と信頼関係をしっかりと築き、女性の視点も交ぜながらしっかりとコミュニケーションをとってまいります。8年間で培った実績と経験をもとに、さらに議会運営が円滑に回るようにと、見附市民の皆様にも信頼される見附市議会となるよう、議長と共に前に進めてまいりたいと思えます。

常任委員会、議会運営委員会等の構成

第4回市議会臨時会が11月22日に開かれ、議長・副議長を選出し、各常任委員会、議会運営委員会等の構成が決まりました。

また、これに伴いその他の議会委員等も決定いたしました。

産業厚生常任委員会

市民生活課、健康福祉課、地域経済課、農林創生課、建設課、上下水道局、市立病院等の所属に属する事項を担当します。

- 委員長 徳永英明
副委員長 佐野勇
委員 エラヒ美砂子
同 小坂井哲夫
同 加藤秀之
同 佐野統康
同 重信元子
同 関三郎
同 佐々木志津子

議会選出監査委員

重信元子

議会だより編集委員会

- 委員長 重信元子
副委員長 小林園以
委員 五十嵐遼
同 小坂井哲夫
同 信賀陽子

会派結成状況(○は代表)

※会派は届出順、代表者以外は当選回数が多い議席番号順

あおぞら会(2名)

○重信元子、渡辺美絵

新政りべらる(3名)

○樺澤直純、佐々木志津子、信賀陽子

日本共産党議員団(2名)

○馬場哲二、小坂井哲夫

みつけ創政(3名)

○徳永英明、佐野統康、五十嵐遼

みつけ未来の会(4名)

○佐野勇、大坪正幸、エラヒ美砂子、小林園以

無会派 ※議席番号順

加藤秀之、星野雄哉、関三郎

総務文教常任委員会

企画調整課、まちづくり課、総務課、税務課、教育委員会、消防等の所属に属する事項並びに他の委員会の所属に属さない事項を担当します。

- 委員長 大坪正幸
副委員長 馬場哲二
委員 五十嵐遼
同 小林園以
同 信賀陽子
同 星野雄哉
同 樺沢直純
同 渡辺美絵

議会運営委員会

議会運営委員会は、円滑な議会の運営を期すため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置されています。

- 委員長 佐々木志津子
副委員長 佐野勇
委員 五十嵐遼
同 馬場哲二
同 徳永英明
同 大坪正幸
同 重信元子

新潟県中越福祉事務組合議会議員

- 佐野統康
渡辺美絵

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 徳永英明

エラヒ 美砂子 議員



当選1回 無所属
今町1丁目18番14号

見附市の医療・介護の向上を

50年近く看護職として働き、医療介護について住民サービスがまだまだ不足していると感じています。私は議会ですら自らの経験を反映できるよう、市民の皆様の声を聞き、取り組んでまいります。核家族化が進んだ今、老老介護は大きな問題です。介護する側の負担が大きく、その先には更に深刻な認知介護（認知症の家族を認知症の家族が介護する）という悲惨な結果が生まれています。このような課題が山積んでいます。問題解決への糸口を見つけていきたいと思います。

先日難病の方々にお会いし、お話を伺いましたが、とても前向きでした。希望や生きがい、楽しみは生きていく上においてとても大切なことです。それが病に打ち勝っていける糸口だと感じました。

これからも市民の皆様の声聞きながら、皆様と共に住みよい見附、暮らしよい見附を目指し、議員活動に邁進したいと考えております。よろしくお願いたします。

五十嵐 遼 議員



当選1回 無所属
本所1丁目11番54号

幸せが実感できるまちづくりを

全国の地方自治体では人口減少、少子高齢化が深刻な問題として待ち構えています。これらの問題に対して解決の道筋を立てていくことが見附市でも必要になります。

私たち若者世代は自己肯定感が低く、将来に対して希望を見いだせている人は多くいません。誰もが未来へ希望を持てるまちづくりを、市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

そのために、私は幸せを実感できるための4つのキーワードを掲げています。「やってみよう」「つながりと感謝」「まえを向いて」「ありのままに」これらは幸せを実感できる4つの要素にもなっています。これからのまちづくりに、これらのキーワードを組み合わせて、幸せの好循環を行政と市民が一致団結して作っていきます。

そのための懸け橋となるべく、市民の皆さんの声を傾聴し、市政に反映するように任期を務めさせていただきます。

小林 園以 議員



当選1回 無所属
上新田町429番地28

ゴールは1つ「家族とみつけの笑顔」

人は、問題が起きて困る時や軌道修正が必要な時がありますが、その時大切な事は、ゴール目的がブレていないか！原点に戻る事だと思えます。

この度の議会では、学びの時も、行動する時も、議論する時も、「みつけの未来」を見据えた「今」を懸命に生き、市民の幸せとその先の笑顔のためにゴールに決めて挑戦させていただきます。

一市民である私の挑戦が、多くの方の勇気の一步につながり、次に私が皆様の出番を応援させて頂きたいのです。

見附が好きでUターンした一人として、この街が面白く心地良い場所（暮らし満足No.1）である事をアピールし、コンパクトな中にインパクトのある見附市にすべく、人口減少対策などにも取り組んで参ります。

ものすごい確率の中で、ご縁あってこの見附市に生を頂きました。この時代を共にさせて頂く皆様と一緒にワクワクする日々が送れますよう、ワンチームの一員として微力を尽くして参ります。

小坂井 哲夫 議員



当選1回 日本共産党
双葉町3番11号

高齢者が輝く町に

選挙期間中、街頭から訴えてきたこと、それは見附の高齢化率と高齢者の社会参加のことでした。33%という数値が示された見附市の高齢化率、しかし見附市のような団体、サークル、地域役員など、多数の高齢者が活躍されているのも事実であり、今の見附市を支えておられる存在であると訴えてきました。

前職で仲間と共に生き生きと活動されている高齢者の方々を見てきました。その力を社会活動に広げている方々も見てきました。この力強さを発揮できる見附市を作ることが必要だと思います。また、そのためには、心身ともに健康を担保できる見附市であるべきだと思います。高齢化は全国的な問題でもあります。見附市の高齢者は生き生きしている。そんな見附市を目指したいと思えます。

わたしの抱負

加藤 秀之 議員



当選1回 無所属
新潟町1012番地

誰もが豊かな人生を送ること

現在、私は障がい者福祉施設で仕事をしております。職場も含め地域でも福祉は文化ということをよく言われます。地域も社会も大きく変わろうとす
る中で、その文化とする仕組みをいかに作るかということが、どの地域でも課題となっています。その課題を市民の皆さんと共に歩み、福祉が浸透する街づくりを推し進めたいと考えます。

具体的には、子ども食堂やフードバンク、農福連携などの視点から、持続可能な社会を地域で市民と共に機能させることです。弱い人が住みやすいということは、強い人は誰でも住みやすいということなのです。

私は、議会は議論して、最後は結論を出すのが仕事であると考え、議決機関ではなく、議事機関との認識を持ち、その違いを考え、任期を全うする覚悟です。

初心を忘れず、議会人としての使命を果たしていきます。

信賀 陽子 議員



当選1回 無所属
今町2丁目4番16-1号

政治の力

私は政治の力を信じています。私たちの暮らしの問題を解決する力が政治にはあります。誰にとっても生活そのものに関わることです。

かねてより日本の、特に地方の人口減少は待ったなしの状況で、見附市も例外ではありません。人口が減れば税収も減り、将来的に共同体を維持できなくなる日がやってきます。

私は政治の力で子どもと現役世代を支えることで、人口減少に歯止めをかけ、全ての世代が暮らしやすく、住み続けたいと思える街づくりを目指し活動いたします。

そして、政治が身近で参加しやすいものになるよう、分かりやすく興味を持てる表現及び活動をいたします。

臨時会での「議会はワンチーム」という先輩議員のお言葉に感銘を受けました。経験豊かな先輩方に教えを乞いながら、持続可能な街づくりに向けて歩んで参ります。

馬場 哲二 議員



当選2回 日本共産党
新町2丁目3番4号

暮らし・福祉・教育優先の市政を

異常な物価高の中で年金は減額され、働く人たちの賃金は上がらず、非正規雇用が増大、市民の暮らしと営業は一層厳しくなっています。

市議会は①市民の願いを届け、市政に反映させること②皆さんの税金が、暮らし・福祉・教育・営業への支援に正しく使われているかチェック機能を果たすこと③自民党岸田政権の間違った政策から、市民の暮らしを守る防波堤になることが求められます。

コロナ禍で苦しむ自営業者は、家賃や水道料、電気料、リース料などの固定費(売り上げがなくなるともかかる経費)への支援。給食費の無償化による教育費の負担軽減、子育て支援は、地方自治体の力で何ができるか。県、国へ支援の要請が求められます。

日本共産党二人の議員団は、力を合わせてがんばります。

徳 永 英 明 議員



当選2回 無所属
釈迦塚町678番地

にこやかに暮らしをまちづくりを

政治とは、夢を実現できるものと信じています。具体的には、市民の要望を叶えたり、弱者を助ける事が出来るなど。その為には、市民の皆さんとの話し合いを原点到、地域からの生の声を市政に届け、議員間で協議を重ねコツコツと少しでも前進し、改善を図る努力をしていきます。

限られた財源を市民の為にどのように生かしていくか、市民、行政、議会が三位一体となり協働していく事が更に大切になります。急速に進む少子高齢化に伴う人口減少の波による地場産業の活力低下を取り戻す為、企業誘致を進め、働く場を確保する事や優位な立地条件を生かし、市外からの定住を図れるなら、自ずと周辺の地場産業も以前の活気ある日常が徐々に生まれて来ると思います。

市民の代表として、市長からの案件に対して是非々々で、「具体的な政策の最終決定」や「行政財政運営の批判と監視」に、今後も一生涯取り組んでいきたいと考えています。

星野雄哉 議員



当選2回 無所属
南本町2丁目1番34号

若者が輝くまちづくりを

この度、多くの皆様よりご支持を賜り、2期目の当選をさせていただきました。これからの市政、市議会へのご期待を頂いたものと受け止めており、その責任の重さに改めて身が引き締まる思いです。

課題である人口減少対策として、子育て支援の充実と共に、「地域の人材」として子ども・若者の意見を施策の企画・立案に活かすことで、若年層の社会参加を推進し、見附に対する想い、このまちに住み続け、自分たちで盛り上げたいという志をもつ若者を増やす取り組みを進めてまいります。

議会では、議員間討議の拡充や条例等の政策提案能力の充実等を図り、議会機能を向上させる取り組みを進めてまいります。その上で、議員定数や報酬の見直しについても議論をしてまいりますと考えております。

4年間、全力で皆様と共に取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

樺澤直純 議員



当選2回 無所属
神保町421番地

『全員議会』となるために：

令和4年11月10日から改選後4年間の市議会が新しい議員の方々と一緒に始まり、各議会人事も決まり、新しい見附市議会がスタートしました。

現在は第8波と言われているコロナウイルス感染症も未だに終息が見えず；でもあり、また、少子高齢化や人口減少が進む中、見附市においては人口が4万人を割り、令和4年11月1日現在で3万9145人となり、見附市の人口が3万9千人を割る日も近づき、今後は更に減少が予想されています。

少子高齢化や人口減少からの様々な諸課題や長引くコロナ禍からの課題、その他の諸課題等にも対峙し続けるための市議会となるために、各々の議員が各々の長所を活かして束になって『全員議会』で市民の皆様と一緒に市政発展となるよう、その一人として私も努めて参ります。

佐野勇 議員



当選3回 無所属
熱田町302番地

私の抱負

1, 学校給食無償化を提言します。物価高騰対策や子育て支援を目的に、教育する人数にかかわらず無料にする。

2, 自然災害発生時に安全な避難場所をつくります。災害発生時の避難場所を再検証し、防災公園をつくる。

3, 高齢者や要支援者に寄り添うやさしいまちづくり。高齢者施設への入所希望者の受け入れ体制の充実。子育てにやさしいまちづくりの実現。核家族化により、子育てと仕事の両立に向け、支援対策を強化。

5, 公共交通ネットワークの充実。市街地と各地域間を結ぶ公共交通ネットワークや高齢者の移動支援策の充実を図り、コミュニティバス路線の変更・見直し。

6, 消雪パイプ受益者負担金の軽減措置。人口減少とともに消雪パイプ維持管理に関わる個人負担が大きくなってきました。公平な負担に加え補助金制度を見直します。

7, 畑を守る電気柵設置補助金を。害獣から大事な畑を守るために有効な電気柵設置に市独自の補助制度。

大坪正幸 議員



当選4回 無所属
学校町2丁目6番15号

信頼される議会に向けた議会改革を

新人議員が6名誕生し、女性議員も6名となりました。次の世代に希望のバトンを渡すために、信頼される議会に向けた議会改革を進めなければなりません。

議会改革の基本は小手先で制度や仕組みを変えることではありません。議会の夜間・日曜日開催や議員定数削減が改革の本丸ではありません。議員一人一人の意識、取り組み姿勢が変わらない限り、議会の改革は進んでいきません。

二元代表制をきちんと機能させるためには一部の有力者、権力者の意向に言動を左右されず、摩擦を恐れず、しがらみにとらわれず、議員は責任と気概を持って取り組まなければなりません。

市民は主権者であり連帯保証人でもあります。議会に対して関心を持ち続けて頂き、議員に対して叱咤激励をお願い申し上げます。

わたしの抱負



当選4回 公明党
月見台2丁目8番7号

真剣に、誠実に、

私はこれまでの3期12年間、「市民の声を市政に届けるパイプ役」として議員活動をして参りました。その姿勢は、これからも決して変わる事なく、貫いていきます。

見附市も他市と同様に、少子高齢化人口減少という課題を抱えています。この課題解決に特効薬はありませんが、市民の皆さんのご要望を聞きながら、目の前の困り事を解決して、見附市に住んで良かったと思う人が増える事、また産業や魅力的な施設で賑わいがある街になる事で、見附市に住みたいと思う人を増やす事が大切だと考えています。コロナ禍で活動が縮小してしまつた市民活動も状況を鑑みながら、再び活発になるよう方法などを探していきたいと思ひます。古き良き伝統は残しつつ、新しい事にも挑戦して、前進していきたいと思ひます。

真剣に、誠実に、皆様のお役に立てるよう、一生懸命に頑張ります。



当選5回 無所属
本明町835番地

無党派で全ての市民の声を聴く

過去4期16年を振り返ると、議会が市民のために機能したのか疑問が残る。特に、前期は数回に亘り、「議員倫理審査会」が開催され、市民はもちろん、県内他市からも議員及び議会の資質を問う声が聴こえた。

稲田丸が出帆して間もなく1年で、改選後は党派を超えて稲田市長を支えるということは全議員が望んでいると思うが、私の情報網が正確無比とは思われないが、選挙戦の最中から不協和音が届いた。嘘であつて欲しいと願う。

私は次の重点方針の実現に議員個人として邁進します。

1. 財政力向上に勇氣と決断をもつて臨む。
 2. 子どもたちが「目を輝かせて」見附を語れるまちづくり。
 3. 災害に強いまちづくり（河川の排水系統と調整池等の検討）
- 無党派で市民のために尽くす」という信念で、見附市が県及び国と確かなネットワークづくりができるよう走り続けます。



当選7回 無所属
今町5丁目9番25号

経験をいかしてみなさんとともに

お互いの個性を尊重し、障がいのあるなしに関わらず、見附が住みよい地域となるために、これまで取り組んできた「教育」「福祉」「環境」「共生」など、皆さんの生の声を行政に届けてきました。手話言語条例の制定には、1年かけて当事者の皆さんと素案作りを手掛け、子育て支援の為に支援センターや特別支援教育・日中一時支援・学校支援員の増員など、教育環境改善の施策提言をし、具現化してきました。

広域合併をせずに自律の道を歩む見附市にとって、大人も子どももお年寄りも、ここ見附で暮らしていく為にこれからも皆さんの声を大切にしていきたいです。少子高齢・人口減少社会を迎えて、新たな課題も見えてきています。

暮らしに目を向けながら「安全・安心」「住んでよかつた」と思えるまちづくりのために、これからも我がまの将来を見据えて、市民の想いと、地域で活動している人たちとつながって暮らしやすい地域になるよう、課題意識を持ちながら活動して参ります。

年賀状等の

あいさつ状の禁止について

政治家は、選挙区内の方に対し答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等のあいさつ状を出すことが禁じられていますので、ご理解をお願いいたします。

編集後記

市民の皆さまに議会での審議内容をわかりやすくお伝えし、親しみの持てる紙面づくりを目指していきなさいと考えております。ぜひご愛読いただきますようお願いいたします。

